

令和6年3月13日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

総務企画常任委員会副委員長 堀江清一

### 所管事務調査結果報告書

令和4年第3回6月定例会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

- 1 調査期間 令和4年6月16日から令和6年3月13日まで
- 2 構成委員 滝口貴史、堀江清一、青木敏久、渋井由放、平塚英教
- 3 調査事項
  - (1) まちづくりに関する事項
  - (2) 防災に関する事項
  - (3) 税の収納対策に関する事項
  - (4) その他所管に属する事項

### 4 調査結果

#### (1) ごみの再資源化に係る視察

令和4年10月21日に高根沢町及び益子町を訪問した。

高根沢町では、プラマークのついた容器包装プラスチックの分別収集を月2回行い、再商品化を図るなどの取組を行っていた。

益子町では、生分解性プラスチックの袋で生ごみの分別収集を週2回行い、委託業者に持ち込み堆肥化し町民に無料で配布されていた。

#### (2) 伊豆の国市衛生センターきよら江間の視察

令和4年11月1日に静岡県伊豆の国市を訪問し尿や浄化槽汚泥を下水道放流方式で処理する新しいし尿処理施設について視察した。

本市管内においても、同様の処理方法により、施設の有効活用が図られるよう調査研究されることを希望したい。

(3) 総合防災訓練の視察

令和4年11月2日、神奈川県平塚市を訪問し、大規模地震被害を想定した総合防災訓練について視察した。市民への防災知識の普及を図る目的で、学校や消防、警察のほか、市民団体や地元企業等、計56団体約3,000人が参加した市民協働による総合防災訓練が行われていた。

効果的な連携体制を構築する大切さや日頃から危機感を持ち防災意識を高めていくことの重要性を再認識した。

(4) 株式会社ウイズウエストジャパンの視察

令和4年12月14日にまちづくり課職員同席のもと、下野市の株式会社ウイズウエストジャパンを訪問した。同施設では、ペットボトルやプラスチック製容器包装のリサイクルが行われており、県内外から十数市町のごみが持ち込まれていた。

海洋プラスチック問題や資源循環のニーズを踏まえ、リサイクルの重要性を再認識し、今後の行政に生かす必要があると感じた。

(5) 消防団との意見交換会の開催

令和5年5月30日に那須烏山市消防団役員と消防団活動について意見交換を行った。消防団では団員の確保と団員数の適正化等の多くの課題を抱えているが、消防装備の充実によって、迅速かつ安全な消防活動を行えるという意見が印象的であった。

(6) JR只見線の視察

令和5年10月31日に福島県会津若松市の福島県只見線管理事務所を訪問し、JR只見線の復旧とこれからの運営体制について視察した。

同路線は平成23年の新潟・福島豪雨により被災し、鉄道の運行と鉄道施設の維持管理を別の組織が担う上下分離方式により、令和4年に運転が再開された。現在、会津川口駅から只見駅までは、福島県が沿線市町村と協力して線路の維持管理等を担っている。

(7) SDGs未来都市計画の視察

令和5年11月1日、山形県米沢市を訪問し、SDGs未来都市の取組について視察した。同市は、江戸時代の名君として知られる米沢藩第9代藩主、上杉鷹山の精神を受け継ぎ、人口減少や少子高齢化が進んでも市民の誰もが暮らしやすく持続可能な社会を実現させるため、市民や企業等と連携し、産業振興、健康長寿の推進、ゼロカーボンシティの実現及び人財育成を通して、SDGsの推進に取り組んでいる。

行政のみならず、市民や民間企業、学校等と連携し、様々なプロジェクトが同時に推進されており、今後の事業推進の手法として参考になった。